

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
分担研究報告書

CAHPS による患者体験調査に関する研究

渡邊 ともね 国立がん研究センター がん対策情報センター がん臨床情報部 研究員

**研究要旨：**

日本語版の CAHPS Cancer Survey の調査票を翻訳、使用することにより、患者体験調査の国際比較への道を拓き、今後の日本におけるがん医療の質向上のための課題を模索することである。このため、翻訳、改定を重ねた後、日本語版の調査票を使用し、インターネットパネル 536 名より回答を得た。結果、米国で想定されたものとほぼ同様の因子が抽出され、米国における CHAPS cancer survey と同様のデータ蓄積可能性が示唆された。今後、詳細な解析や検討をかさね、データの国際比較の道を模索する。

○研究責任者および共同研究者

研究責任者： 渡邊ともね 国立がん研究センターがん対策情報センター がん臨床情報部

共同研究者： 東尚弘 国立がん研究センターがん対策情報センター がん臨床情報部

A. 研究目的・意義

平成 24 年に閣議決定された第 2 期がん対策基本計画において、がん対策の進捗評価のための指標の策定がなされ、医療の質の評価の一環としてがん患者体験調査が全国規模で開始された。この際使用される調査票は、独自のインタビュー方式により作成されたものであり、結果のさらなる応用や、国際的な比較は想定されていなかった。しかしながら、患者体験調査が国際比較できれば、我が国における患者の視点に立った医療の質を可視化し、課題の明確化、対策につながるといった点で今後のがん対策にとり重要な貢献となり得る。さらに、現存する患者体験調査を継続的に改善し、適正な医療の質評価のための患者体験調査として、妥当性と信頼性の高い調査票の使用が必要とされている。このような中、米国では、Agency for Healthcare Research and Quality(AHRQ)により CAHPS 調査票が患者体験調査として開発され、データの蓄積がなされている。Consumer Assessment of Healthcare Providers and Systems (以下、CAHPS)調査票は、測定領域の明確化、文献レビュー、現存する測定手段と関連尺度のレビュー、ステークホルダーの参画、患者や顧客への

フォーカスグループの実施、妥当性と信頼性の高い調査票の開発、患者インタビュー、認知テストによる患者インタビュー結果の復習、現場検証と結果の心理分析、現場検証の復習のすべてのプロセスを経て作成された妥当性と信頼性の高い患者体験調査票である<sup>(1)</sup>。その中で、がん医療に特化した患者体験を調査するため、CAHPS Cancer Care Survey が、2016 年に開発された。

本研究の目的は、日本語版の CAHPS Cancer Survey の調査票を翻訳、使用することにより、患者体験調査の国際比較への道を拓き、今後の日本におけるがん医療の質向上のための課題を模索することである。CAHPS Cancer Survey は 2016 年に開発されたばかりの比較的新しい調査票であり、データの蓄積は今後の課題とされているが、日本において本調査票を用いたデータを蓄積することは、今後米国において Cancer Survey のデータが蓄積された際、国際比較することを可能とし、共同研究への道を拓くことにもつながる。本研究は、がん対策評価における課題である患者の視点による医療の質の評価を可能にするため、妥当性と信頼性の高い既存の海外の調査票を使用し患者体験調査をおこな

い、さらに国際比較可能性の基盤づくりを試みるという点が独創的な点であるといえる。

## B. 研究方法

本研究は以下の通り、平成 29 年と平成 30 年の 2 年間にわたり (1) 翻訳、(2) 改訂、(3) 本調査、(4) 集計と分析の 4 段階構成で行われた。

### (1). 翻訳

AHRQ の翻訳要綱に沿い、CAHPS Cancer Survey を翻訳する。翻訳は、①翻訳チームメンバーの選出：翻訳者とレビューアーから成る翻訳チームメンバーを選出した。翻訳者とレビューアーの要件は Translating CAHPS survey (Appendix A) に準ずる ②翻訳：翻訳は少なくとも 2 人の翻訳者により別々に行われた③レビュー：レビューアーにより、内容の検証を行った④合意を得る：チーム全体で話し合い、翻訳結果についての合意を得た。すべての工程終了後、AHRQ のガイドラインに従い、調査票のフォーマットを整えられた。必要に応じて、AHRQ に連絡を取り疑問点を話し合いが行われた。

### (2). 調査票の実行可能性の検証、改訂

国立がん研究センター施設内にて、患者・市民パネル 10 名程度に個々にインタビュー調査を行い、実際に出来上がった調査票を使用し分かりにくい点、改訂が必要な点を検証し最終的な文言の修正がされた。

### (3). 本調査

サンプルフレームの決定：回答率を 40% と仮定し少なくとも 300 の完全回答の調査票を得るために 750 人のサンプルを必要とした。尚、調査は外部業者に委託の Web 調査とした。調査票はすべて無記名、回答者の自由意志で行われ、回答の有無による不利益を被らないことが明記された。尚、Web 調査をするため、回答率が目標を下回ることは非常に稀であった。

### (4). 集計と分析

結果の受け取り、調査結果をもとに Stata や Excel を使用して集計を行われた。集計結果をもとに JASP と Stata を使用し、AHRQ の公開マニュアルを参考に結果の分析をおこない、今後の日本のがん医療の質向上のための課題が模索された。

## C. 研究結果

薬物、手術、放射線と 3 つがんに関する CAHPS 調査票が存在する中、今回の翻訳に際しては「CAHPS がん医療に関する調査」という名前で 3 つを統合した調査票を作成した。米国における 3 つの CAHPS 調査票は 3 つの別々の医療に携わった医療チームを評価するものであったため、翻訳版ではがん医療に関わった医療者を対象にするものとし、特定の医療提供者に限定しなかった。翻訳後、10 名の「患者・市民パネル」に対して一人 1 時間程度のインタビューを行い、最終的に 50 問の調査票を作成した。

本調査は、2019 年 02 月 14 からの 4 日間、NTT コム オンライン・マーケティング・ソリューションのインターネット調査パネルに対して行われた。10225 名に対し調査票を配信したうち、536 名からの回答を得た (回答率約 20%)。想定された因子は、50 項目中 2 問の global ratings 以外に 6 つであった<sup>(2)</sup>。想定された因子が明確であったため、本来ならば Confirmatory factor analysis (CFA) が行われるべきだったが、JASP, Stata 両方のソフトにおいて解析不能であった。要因として、選択式の問題で当てはまる者のみ回答すべき問いがいくつか存在し、Missing data が多く含まれたことが挙げられる。代わりに、Exploratory Factor Analysis (EFA) が行われ、因子の数は予め 6 つに設定された。q36 のみ選択肢が 2 択であったため、本問いは分析から除外された。結果、Component loading $\geq 0.4$  の条件下で想定された 6 つの因子が存在したが (Table1)、“Care coordination”として想定された領域の因子のうち 2 つの問い (q20, q26) は別の領域内に入っていた。Table2, Table3 からもこの 2 つの問いが別の領域によりフィットすることが言える。特に q20 は、因子分析の結果でも Provider communication に属しており、質問の順番、内容からも、Care coordination よりは Provider communication に属する方がより適切と考えられた。本モデルにおいて、RMSEA=0.059 (0.049–0.068), TLI=0.932 であった。先行研究の基準は、RMSEA $< 0.05$ , TLI $\geq 0.95$  であり、値は近い

ものの基準はみたさなかった。それぞれの領域 における結果を以下に示す。

Table1. Result of factor analysis(Exploratory factor analysis)

	RC 1	RC 2	RC 3	RC 4	RC 5	RC 6
q13	.	.	.	.	0.515	.
q15	.	.	.	.	0.715	.
q17	.	.	.	.	0.703	.
q18	0.614	.	.	.	.	.
q19	0.670	.	.	.	.	.
q20	0.787	.	.	.	.	.
q21	0.950	.	.	.	.	.
q22	0.734	.	.	.	.	.
q24	.	.	.	.	.	0.969
q26	.	-0.430	.	.	.	.
q29	.	0.714	.	.	.	.
q32	.	0.863	.	.	.	.
q35	.	0.703	.	.	.	.
q37	.	.	.	.	.	.
q40	.	.	.	1.037	.	.
q41	.	.	.	0.665	.	.
q6	.	.	0.715	.	.	.
q7	.	.	0.801	.	.	.
q8	.	.	0.517	.	.	.

Table2. Result of reliability and descriptive statistics

		Provider communication	Care Coordination	Courteous office staff	Getting timely care	Supporting Patient self-management**	Available to Provide Care and Info
Internal-consistency reliability (Cronbach's a)	>=0.70	0.860 (0.839-0.878)	0.575(0.509-0.634)	0.864(0.839-0.885)	0.684(0.634-0.727)	0.814(0.787-0.839)	0.766(0.730-0.799)
criterion validity	>=0.30	0.716,0.625(p<.001)	0.526,0.456(p<.001)	0.457,0.456(p<.001)	0.475,0.464(p<.001,0.001)	0.545,0.334(p<.001)	0.458,0.402(p<.001)
Scaling success	*	✓	×	✓	×	✓	✓
Ceiling effects	>75%	31.5%-44.6%	21.8%-65.7%	43.8%,46.3%	44.9%-59.6%	7.7%-34.7%	12.6%-36.5%

\* if items correlate more highly with their own composites than with other composites (Table3)

\*\*q36 was excluded since it has two choices whereas the others have three

Table3. Item-rest correlation matrix

		Available	Timely	Provider	Care	Supporting	Courteous
Available	q6	0.629	-0.168	-0.407	-0.308	0.553	-0.203
	q7	0.633	-0.091	-0.351	-0.327	0.481	-0.198
	q8	0.551	-0.235	-0.338	-0.338	0.54	-0.183
Timely	q13	-0.37	0.511	0.409	0.287	-0.397	0.289
	q15	-0.228	0.532	0.391	0.312	-0.181	0.309
	q17	-0.161	0.461	0.485	0.513	-0.435	0.242
Provider	q18	-0.285	0.614	0.645	0.506	-0.421	0.447
	q19	-0.39	0.462	0.727	0.549	-0.537	0.441
	q21	-0.368	0.299	0.744	0.563	-0.543	0.44
	q22	-0.44	0.346	0.71	0.57	-0.592	0.422
Care	q20	-0.365	0.509	0.733	0.394	-0.473	0.467
	q24	-0.271	0.53	0.473	0.478	-0.271	0.281
	q26	-0.332	0.068	0.334	0.346	-0.42	0.105
Supporting	q29	0.439	-0.365	-0.509	-0.463	0.619	-0.282
	q32	0.454	-0.34	-0.494	-0.461	0.785	-0.252
	q35	0.445	-0.223	-0.509	-0.402	0.64	-0.316
	q37	0.334	-0.054	-0.223	-0.291	0.523	-0.134
Courteous	q40	-0.216	0.271	0.463	0.286	-0.289	0.761
	q41	-0.226	0.273	0.513	0.328	-0.265	0.761

アンケートの結果に関しては、“Provider communication”領域の4問においては、「1:全くなし、2:時々あり、3:たいていあり、4:いつもあり」の回答平均が3.0-3.5であった。“Courteous office staff”領域の2問の回答平均は3.3、“Getting timely care”領域の3問では3.0-3.5であった。“Supporting patient self-management”領域の5問においては「1:はい、2:ややそう思う、3:いいえ」の3段階評価であり、回答平均は1.5-1.9、

“Available to provide care and info”領域の3問においては1.4-1.9であった。ほとんどの領域で回答者の満足度は高いと言える。今回因子としては入らなかったが、もともと想定された領域としてあった“Care coordination”の3問は、回答平均は4段階中2.6-3.5であり、中

でも低値かつ比較的大きなばらつき(SD:0.9)を記録したのが「担当の医師や看護師と服用中の薬について相談しましたか」という問いだった。回答終了時、回答者に「回答しにくい質問があったか」という問いに対しては、87%が「特になかった」と回答した。残りの13%はなんからの問いが答えにくいと回答したが、「答えにくい」とされた問いが特定のものに集中したわけではなかった(q4「どのくらいの期間、その病院でがん治療を行いましたか」が最多で2.3%)。

#### D. 考察

米国で開発された CAHPS 調査を使用し、日本語版に翻訳、調査を実施した。結果、想定されたほとんどの領域は想定通り因子として挙げたが、“Care coordination”の領域は日本語版

の調査票においては因子として適切とは言いがたかった。

考えられる要因の1つとして、日本の医療現場では、米国ほど医療提供に関する分業が明確化されていない点が挙げられる。例えば、結果では、「担当の医師や看護師と服用中の薬について相談しましたか」という問いに対して比較的低くばらつきの大きかった。理由として、米国での調査票は「放射線チーム、薬物療法チーム、手術チーム」と質問対象が明確に分かれていたのに対し、翻訳版では対象を「医師や看護師」としており、医療現場で多くの役割を引き受ける可能性がある専門職が対象となっている点、また、服薬指導を専属薬剤師がおこなう病棟や看護師が行う病棟もあったりと、服用中の薬剤に関する相談について統一した医療提供がされていない点が挙げられる。つまり、米国においては、この問いに対する結果が薬物療法チームで高値となり、放射線チームでは低値となるなどと予想できるのに対し、対象を「医者や看護師」にしたことで回答にばらつきが生まれた可能性がある。

既述のように、米国と日本で医療システムに乖離のある分野に関しては、想定された結果がでないこともあった。今後、CARPS 調査をさらに進める上で、提供者の評価に関わる問いに関しては、慎重に検討していく必要がある。

#### E. 結論

今回の研究により、米国で広く使用されている CAHPS 調査票を使用し、翻訳を通じて国内で米国と同様のデータを蓄積していくことが可能

であることが示唆された。ただし、両国の医療システムの違いを考慮に入れ、今後、supplemental item を使用した項目の追加や、さらなる詳細な解析を通じて実現可能な国際比較の道を模索していく。

#### G. 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

#### (参考文献)

- (1) CAHPS: Assessing Health Care Quality From the Patient's Perspective [Internet]. [cited 2018/06/17]. Available from: [https://www.ahrq.gov/sites/default/files/wysiwyg/cahps/about-cahps/cahps-program/14-p004\\_cahps.pdf](https://www.ahrq.gov/sites/default/files/wysiwyg/cahps/about-cahps/cahps-program/14-p004_cahps.pdf).
- (2) Evensen C, Yost KJ, Keller S, Cowans T, Frentzel E, Jenkins S, et al. CAHPS Cancer Care Survey: Development, testing, and final content of a survey of patient experience with cancer care. *Journal of Clinical Oncology*. 2017;35(8\_suppl):227-.

# Appendix

## Appendix 1: CAHPS 調査 単純集計結果

Q1\_1. お差し支えない方は あなたが がん治療を受けた主たる病院の名前を教えてください。

		実数	%
全体		480	100.0
回答者数		480	100.0

(Q2. 医師は、あなたががんであなた自身に告げましたか。

		実数	%
全体		536	100.0
1	はい	524	97.8
2	いいえ	12	2.2

(Q3. その病院は、あなたが普段から（他の病気や健康に関する相談などで）通っている病院ですか。

		実数	%
全体		524	100.0
1	はい	167	31.9
2	いいえ	357	68.1

(Q4. どのくらいの期間、その病院でがん治療を行いましたか（行っていますか）。

		実数	%
全体		524	100.0
1	6か月未満	244	46.6
2	6か月以上1年未満	83	15.8
3	1年以上2年未満	56	10.7
4	2年以上	141	26.9

(Q5. 最初にがんと診断されたのはいつですか。

		実数	%
全体		524	100.0
1	6か月未満前	32	6.1
2	6か月から11か月前	31	5.9
3	1年から2年前	59	11.3
4	2年以上前	402	76.7

(Q6. 治療が決定してから、医療スタッフは、何か質問がある時には連絡してもよいと伝えましたか。

		実数	%
全体		524	100.0
1	はい	294	56.1
2	ややそう思う	131	25.0
3	いいえ	99	18.9

(Q7. 治療が決定してから、医療スタッフは、副作用や気になる症状が現れた時にはすぐに知らせるよう伝えましたか。

		実数	%
全体		524	100.0
1	はい	343	65.5
2	ややそう思う	115	21.9
3	いいえ	66	12.6

(Q8. 治療が決定してから、医療スタッフは、診察時間外の連絡方法についてわかりやすく伝えましたか。

		実数	%
全体		524	100.0
1	はい	203	38.7
2	ややそう思う	130	24.8
3	いいえ	191	36.5

(Q9. 治療が決定してから、医療スタッフは、がん治療に関わる意思決定にご家族やご友人が参加してもよいと伝えましたか。

		実数	%
全体		524	100.0
1	はい	326	62.2
2	ややそう思う	115	21.9
3	いいえ	83	15.8

(Q10. 最後にその病院で治療を受けたのはいつですか。

		実数	%
全体		524	100.0
1	6か月未満前	112	21.4
2	6か月以上1年未満前	35	6.7
3	1年以上2年未満前	46	8.8
4	2年以上前	331	63.2

(Q11. その病院において診察は何回程度ありましたか。メールや電話相談は含みません（入院期間を除きます）。

		実数	%
全体		524	100.0
1	ない	19	3.6
2	1回～5回	198	37.8
3	6回～10回	73	13.9
4	11回以上	234	44.7

(Q12. その病院に緊急で連絡をとったことがありますか。

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	90	17.8
2	いいえ	415	82.2

(Q13. Q12の際、すぐに診てもらえましたか。

		実数	%
全体		90	100.0
1	全く診てもらえなかった	3	3.3
2	時々診てもらえた	6	6.7
3	たいてい診てもらえた	33	36.7
4	いつも診てもらえた	48	53.3

(Q14. その病院で、検査や受診の予約をしたことがありますか。

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	485	96.0
2	いいえ	20	4.0

(Q15. Q14の際、すぐに予約がとれましたか。

		実数	%
全体		485	100.0
1	全くとれなかった	3	0.6
2	時々とれた	19	3.9
3	たいていとれた	174	35.9
4	いつもとれた	289	59.6

(Q16. 病気に関する質問をするため、診療時間内にその病院に連絡をしたことはありますか。

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	98	19.4
2	いいえ	407	80.6

(Q17. Q16の際、その日のうちに回答を得られましたか。

		実数	%
全体		98	100.0
1	全く得られなかった	2	2.0
2	時々得られた	11	11.2
3	たいてい得られた	41	41.8
4	いつも得られた	44	44.9

(Q18. 担当の医師や看護師の指示や注意点に関する説明はわかりやすかったですか。

		実数	%
全体		505	100.0
1	わからなかった	7	1.4
2	時々わかりやすかった	34	6.7

3	たいていわかりやすかった	265	52.5
4	いつもわかりやすかった	199	39.4

(Q19. 担当の医師や看護師はあなたの話をどれくらい聞いてくれましたか。)

		実数	%
全体		505	100.0
1	全く聞いてくれなかった	1	0.2
2	時々聞いてくれた	37	7.3
3	たいてい聞いてくれた	242	47.9
4	いつも聞いてくれた	225	44.6

(Q20. 担当の医師や看護師はあなたの病気に関する情報を常に把握していたと思いますか。)

		実数	%
全体		505	100.0
1	全くしていなかった	2	0.4
2	時々していた	45	8.9
3	たいていしていた	259	51.3
4	いつもしていた	199	39.4

(Q21. 担当の医師や看護師はあなたの思いや気持ちを尊重しようとしていましたか。)

		実数	%
全体		505	100.0
1	全くしてなかった	6	1.2
2	時々していた	49	9.7
3	たいていしていた	262	51.9
4	いつもしていた	188	37.2

(Q22. 担当の医師や看護師はあなたに十分な時間をとって対応してくれましたか。)

		実数	%
全体		505	100.0
1	全くしてくれなかった	12	2.4
2	時々してくれた	62	12.3
3	たいていしてくれた	272	53.9
4	いつもしてくれた	159	31.5

(Q23. 担当の医師が、血液検査、X線検査、またはその他の検査を追加したことがありましたか。)

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	399	79.0
2	いいえ	106	21.0

(Q24. その病院では、行われた血液検査、X線検査、またはその他の検査の結果の説明をしてくれましたか。)

		実数	%
全体		399	100.0
1	全くしてくれなかった	6	1.5
2	時々してくれた	15	3.8
3	たいていしてくれた	116	29.1
4	いつもしてくれた	262	65.7

**(Q25. 処方された内服薬を服用しましたか。**

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	386	76.4
2	いいえ	119	23.6

**(Q26. 担当の医師や看護師と、服用中の薬について相談しましたか。**

		実数	%
全体		386	100.0
1	全く話し合わなかった	42	10.9
2	時々話し合った	124	32.1
3	たいてい話し合った	136	35.2
4	いつも話し合った	84	21.8

**(Q27. 担当の医師や看護師と、がんによる痛み、または治療による痛みについて相談しましたか。**

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	287	56.8
2	いいえ	218	43.2

**(Q28. がんによる痛み、または治療による痛みがありましたか。**

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	221	43.8
2	いいえ	284	56.2

**(Q29. 担当の医師や看護師は、この痛みについて助言や何らかの支援をしましたか。**

		実数	%
全体		221	100.0
1	はい	119	53.8
2	ややそう思う	85	38.5
3	いいえ	17	7.7

**(Q30. 担当の医師や看護師と、がんや治療にともなう体調の変化について相談しましたか。**

		実数	%

全体		505	100.0
1	はい	349	69.1
2	いいえ	156	30.9

(Q31. 病気や治療にともなう体調の変化に悩まされることがありましたか。

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	262	51.9
2	いいえ	243	48.1

(Q32. 担当の医師や看護師は、この体調の変化に対して助言や何らかの支援をしましたか。

		実数	%
全体		262	100.0
1	はい	145	55.3
2	ややそう思う	92	35.1
3	いいえ	25	9.5

(Q33. 担当の医師や看護師と、がんや治療に関連した不安などの精神的な問題について相談しましたか。

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	194	38.4
2	いいえ	311	61.6

(Q34. がんや治療に関連した不安などの精神的な問題がありましたか。

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	212	42.0
2	いいえ	293	58.0

(Q35. 担当の医師や看護師は、この精神面の問題に対して助言や何らかの支援をしましたか。

		実数	%
全体		212	100.0
1	はい	68	32.1
2	ややそう思う	85	40.1
3	いいえ	59	27.8

(Q36. 在宅におけるがん医療には、在宅医療、特別な医療機器、または特別な備品などのサービスがあります。このようなサービスについて話しがありましたか。

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	74	14.7
2	いいえ	431	85.3

(Q37. 担当の医師や看護師と、治療期間中の食事や運動などの方法について相談しましたか。

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	195	38.6
2	ややそう思う	135	26.7
3	いいえ	175	34.7

(Q38. 担当医師や看護師を総合して 0 から 10 の数字で評価してください。尚、0 が最低の医師や看護師、10 を最高の医師や看護師としてください。

		実数	%
全体		505	100.0
1	最低の医師や看護師 0	0	0.0
2	←1	1	0.2
3	2	5	1.0
4	3	5	1.0
5	4	4	0.8
6	5	25	5.0
7	6	20	4.0
8	7	88	17.4
9	8	153	30.3
10	→9	110	21.8
11	最高の医師や看護師 10	94	18.6

(Q39. その病院でのがん医療全般について、あなたの経験を 0 から 10 の数字で評価してください。尚、0 が最低の医療経験、10 を最高の医療経験としてください。

		実数	%
全体		505	100.0
1	最低の経験 0	2	0.4
2	←1	2	0.4
3	2	2	0.4
4	3	2	0.4
5	4	8	1.6
6	5	25	5.0
7	6	31	6.1
8	7	68	13.5
9	8	157	31.1
10	→9	119	23.6
11	最高の経験 10	89	17.6

(Q40. その病院の受付・手続きなどの事務員の対応は十分なものでしたか。

		実数	%

全体		505	100.0
1	全く十分でない	4	0.8
2	時々	43	8.5
3	たいてい	237	46.9
4	いつも	221	43.8

(Q41. その病院の受付・手続きなどの事務員は、礼儀をもってあなたに接していましたか。)

		実数	%
全体		505	100.0
1	全くしてない	8	1.6
2	時々	36	7.1
3	たいてい	227	45.0
4	いつも	234	46.3

(Q42. あなたのがん治療について、どのように意思決定をしたいとお考えですか。)

		実数	%
全体		505	100.0
1	主に自分で意思決定をしたい	110	21.8
2	自分と医師と一緒に意思決定をしたい	361	71.5
3	主に医師に意思決定をしてもらいたい	34	6.7

(Q43. がん治療のため入院をしましたか。)

		実数	%
全体		505	100.0
1	はい	458	90.7
2	いいえ	47	9.3

(Q44. 現在のあなたの全身の健康状態について評価してください。)

		実数	%
全体		536	100.0
1	非常に良好	72	13.4
2	良好	181	33.8
3	普通	197	36.8
4	やや悪い	68	12.7
5	悪い	18	3.4

(Q45. 現在のあなたの精神面または情緒面について、評価してください。)

		実数	%
全体		536	100.0
1	非常に良好	86	16.0
2	良好	181	33.8
3	普通	213	39.7

4	やや悪い	42	7.8
5	悪い	14	2.6

**(Q46. 年齢)**

		実数	%
全体		536	100.0
1	18-20 歳	1	0.2
2	21-24 歳	2	0.4
3	25-34 歳	8	1.5
4	35-44 歳	40	7.5
5	45-54 歳	95	17.7
6	55-64 歳	157	29.3
7	65-74 歳	163	30.4
8	75 歳以上	70	13.1

**(Q47. 性別)**

		実数	%
全体		536	100.0
1	男性	323	60.3
2	女性	213	39.7

**(Q48. 最終学歴を教えてください。)**

		実数	%
全体		536	100.0
1	小学校以下	0	0.0
2	中学校	11	2.1
3	高校	167	31.2
4	専門学校、短大	104	19.4
5	大学	234	43.7
6	大学院	20	3.7

**(Q49. この調査票に回答するにあたり、他人の助けを必要としましたか。)**

		実数	%
全体		536	100.0
1	はい	9	1.7
2	いいえ	527	98.3

**(Q50. その人は、調査回答に際し、どのように関わったのでしょうか。)**

		実数	%
全体		9	100.0
1	質問を読んでくれた	2	22.2
2	回答を記入してくれた	1	11.1

3	質問に回答してくれた	1	11.1
4	質問を私の言語に通訳してくれた	0	0.0
5	その他の方法で手助けしてくれた	5	55.6

**(MA)Q51. Q2～45 まで、答えにくい質問はありましたか。答えにくかった質問とその理由についてお聞かせください。**

		実数	%
全体		536	100.0
1	特になかった	468	87.3
46	癌（がん）になったことはない	0	0.0
2	Q2 医師は、あなたががんであるとあなた自身に告げましたか。	5	0.9
3	Q3 その病院は、あなたが普段から（他の病気や健康に関する相談などで）通っている病院ですか。	12	2.2
4	Q4 どのくらいの期間、その病院でがん治療を行いましたか（行っていますか）。	15	2.8
5	Q5 最初にがんと診断されたのはいつですか。	3	0.6
6	Q6 治療が決定してから、医療スタッフは、何か質問がある時には連絡してもよいと伝えましたか。	5	0.9
7	Q7 治療が決定してから、医療スタッフは、副作用や気になる症状が現れた時にはすぐに知らせるよう伝えましたか。	4	0.7
8	Q8 治療が決定してから、医療スタッフは、診察時間外の連絡方法についてわかりやすく伝えましたか。	7	1.3
9	Q9 治療が決定してから、医療スタッフは、がん治療に関わる意思決定にご家族やご友人が参加してもよいと伝えましたか。	3	0.6
10	Q10 最後にその病院で治療をうけたのはいつですか。	5	0.9
11	Q11 その病院において診察は何回程度ありましたか。メールや電話相談は含みません（入院期間を除きます）。	3	0.6
12	Q12 その病院に緊急で連絡をとったことがありますか。	3	0.6
13	Q13 Q12 の際、すぐに診てもらえましたか。	2	0.4
14	Q14 その病院で、検査や受診の予約をしたことがありますか。	4	0.7
15	Q15 Q14 の際、すぐに予約がとれましたか。	2	0.4
16	Q16 病気に関する質問をするため、診療時間内にその病院に連絡をしたことはありますか。	6	1.1
17	Q17 Q16 の際、その日のうちに回答を得られましたか。	0	0.0
18	Q18 担当の医師や看護師の指示や注意点に関する説明はわかりやすかったですか。	2	0.4
19	Q19 担当の医師や看護師はあなたの話をどれくらい聞いてくれましたか。	5	0.9
20	Q20 担当の医師や看護師はあなたの病気に関する情報を常に把握していたと思いますか。	1	0.2
21	Q21 担当の医師や看護師はあなたの思いや気持ちを尊重しようとしていましたか。	7	1.3
22	Q22 担当の医師や看護師はあなたに十分な時間をとって対応してくれましたか。	4	0.7
23	Q23 担当の医師が、血液検査、X線検査、またはその他の検査を追加したことがありますか。	2	0.4
24	Q24 その病院では、行われた血液検査、X線検査、またはその他の検査の結果の説明をしてくれましたか。	2	0.4
25	Q25 処方された内服薬を服用しましたか。	6	1.1
26	Q26 担当の医師や看護師と、服用中の薬について相談しましたか。	4	0.7
27	Q27 担当の医師や看護師と、がんによる痛み、または治療による痛みについて相談しましたか。	8	1.5
28	Q28 がんによる痛み、または治療による痛みがありましたか。	0	0.0
29	Q29 担当の医師や看護師は、この痛みについて助言や何らかの支援をしましたか。	3	0.6
30	Q30 担当の医師や看護師と、がんや治療にともなう体調の変化について相談しましたか。	4	0.7

31	Q31 病気や治療にともなう体調の変化に悩まされることがありましたか。	2	0.4
32	Q32 担当の医師や看護師は、この体調の変化に対して助言や何らかの支援をしましたか。	5	0.9
33	Q33 担当の医師や看護師と、がんや治療に関連した不安などの精神的な問題について相談しましたか。	6	1.1
34	Q34 がんや治療に関連した不安などの精神的な問題がありましたか。	2	0.4
35	Q35 担当の医師や看護師は、この精神面の問題に対して助言や何らかの支援をしましたか。	5	0.9
36	Q36 在宅におけるがん医療には、在宅医療、特別な医療機器、または特別な備品などのサービスがあります。このようなサービスについて話しがありましたか。	1	0.2
37	Q37 担当の医師や看護師と、治療期間中の食事や運動などの方法について相談しましたか。	4	0.7
38	Q38 担当医師や看護師を総合して 0 から 10 の数字で評価してください。尚、0 が最低の医師や看護師、10 を最高の医師や看護師としてください。	6	1.1
39	Q39 その病院でのがん医療全般について、あなたの経験を 0 から 10 の数字で評価してください。尚、0 が最低の医療経験、10 を最高の医療経験としてください。	9	1.7
40	Q40 その病院の受付・手続きなどの事務員の対応は十分なものでしたか。	3	0.6
41	Q41 その病院の受付・手続きなどの事務員は、礼儀をもってあなたに接していましたか。	5	0.9
42	Q42 あなたのがん治療について、どのように意思決定をしたいとお考えですか。	0	0.0
43	Q43 がん治療のため入院をしましたか。	2	0.4
44	Q44 現在のあなたの全身の健康状態について評価してください。	2	0.4
45	Q45 現在のあなたの精神面または情緒面について、評価してください。	4	0.7